

本年度の目指す生徒の姿

- 対人関係に踏み出し、感謝の心を持てる生徒
- 協同する価値を知り、他者に貢献する生徒
- 多様な価値観を尊重し、共に成長する生徒

取組の視点

生徒

- 学習意欲を高め、自立的な学びにつなげる
- 自己肯定感の高まりを自主的、自立的な行動につなげる
- 協同の価値を様々な場面で見出す

教職員

- 意欲を高めることで、活動の質を高める
- 他者信頼→他者貢献→自己受容(肯定)のサイクルを回す
- 生徒の潜在力を信じる

努力点	学校自己評価				学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果	次年度以降への改善策	
学びのある授業	生徒が価値ある課題に協同して取り組むことを支援する。	「授業アンケート」の評価項目③「課題」、⑥「協同」に肯定的な評価をした生徒の割合が60%以上A、50%以上B、50%未満C	A	B	学び直しのできる学校というキャッチフレーズ通り、生徒さん達のレベルに応じた学習指導が工夫されている。
	研究・公開授業と「授業観察シート」を活用した振り返りを広く実施し、生徒の深い学びにつなげる。	研究・公開授業と振り返りを実施した教員の割合が、80%以上A、60%以上B、60%未満C	C		
居がいのある学校生活	各種委員会活動の充実や生徒会行事の成功のために、仲間とともに取り組むことの価値を体感させる。	生徒アンケートを実施し、協調・協働できたと答えた生徒の割合が、60%以上A、50%以上B、50%未満C	A	A	学校行事に参加しにくい生徒がいることを念頭にバラエティに富んだ行事が企画されている。
	健康な生活が送れるように『保健だより』等を通じて保健指導を行い、生徒の意識高揚を図る。	生徒アンケートを実施し、健康に留意したと答えた生徒の割合が60%以上A、50%以上B、50%未満C	A		
キャリア発達を促す活動	「総合的な学習の時間」の年間計画を見直して各年次に合わせた内容を実施することで、生徒の進路や生き方を考えさせる。	「総合的な学習の時間」に関する生徒アンケートを実施し、満足度が60%以上A、50%以上B、50%未満C	A	A	ジョブシャドウイングの生徒は大変真面目である。市主催の行事等でも頑張っている。いろいろな面で良いイメージを持っている。
	「進路ガイダンス」を生徒の実態に合った内容・形式に改善して多くの情報を提示することで、一人ひとりのキャリア発達を支援する。	「進路ガイダンスⅠ・Ⅱ」の終了後に生徒アンケートを実施し、満足度が60%以上A、50%以上B、50%未満C	A		
困難を抱える生徒への支援	面談や調査・検査の結果を活用し、生徒の傾向やニーズに基づいた対応を実践する。	「相談や一人ひとりに対応した指導」に関する生徒アンケートを実施し、評価が昨年を上回るA、同程度B、下回るC	B	B	難しい問題をかかえた生徒さんたちへきめ細かな相談体制を整えている。感覚的には『学校評価票』はA評価で良いのではないかな？
	生徒や保護者が抱える課題について、情報共有やSCとの連携、ケース会議の開催等、組織的な支援体制の構築を図る。	「困難な状況にある生徒への組織的な支援」に関するHR担任アンケートを実施し、充実度が60%以上A、50%以上B、50%未満C	B		
開かれた学校、外部資源の活用	学悠館の魅力を学校外に情報発信するために、前向きに学校生活を送っている生徒の姿を中心にすえて効果的に広報する。	『学校案内』の見直し、HPの更新、学校紹介ポスター(チラシ)の作成をして効果的な広報活動ができたA、おおむねできたB、不十分であったC	A	B	時々ホームページを見ていて、様々な工夫がされており楽しみにしている。さらに今後も情報の発信を継続して行って欲しい。
	各種案内文やHP、『学悠館だより』にPTA関係行事を掲載して広く紹介することで、活動への保護者の理解を促進する。	PTA関係行事の「予告」と「報告」ができたA、おおむねできたB、不十分であったC	B		
安全安心な学習環境の確保	校内外の巡回指導やアンケート、日頃の生徒観察、声かけを実施し、危険防止、問題行動の未然防止を目指す。	巡回や声かけにより成果が上がったA、計画的に巡回指導ができたB、不十分であったC	B	B	ひとりひとりの生徒に対する支援を大切にされている本校教職員の姿を感じます。

AA=A AB=B AC=B BB=B BC=B CC=C